

7. 9訂正版

第8回 写真とカメラ サイトウ杯 兼 第19回ミニバスケットボールちびっ子大会 フレッシュミニ（4年生以下の部）大会実施要項

1. 主 催 写真とカメラ サイトウ
会津若松市ミニバスケットボール協会
2. 共 催 会津若松市ミニバスケットボール保護者連合会
3. 後 援 会津バスケットボール協会 U-12 部会
〃 保護者連合会
4. 目 的 本大会を開催し、これに参加することにより、ミニバスケットボールの楽しさを経験してもらい、競技児童の増加を図る。
5. 期日・日程 令和3年8月7日（土）・8月8日（日）
開会式は、行いません。
ゲームは、ゲームスケジュール表による。
6. 会 場 1日目、2日目ともに、河東総合体育館・鶴ヶ城体育館
7. 競技方法 試合方式については参加チーム数が決定次第決定する。
【5分－2分－5分－2分－5分】の3ピリオド制
新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえた競技方法とする。
8. 参加資格
 - ①4年生以下の児童で男子、女子別でチームを編成すること。
 - ②スポーツ少年団やミニバスケットボール連盟への登録の有無は問わない。
 - ③チーム構成は、8名以上15人以下での参加とする。
 - ④同一チーム（連盟登録チーム）から複数チームの参加も可能。
 - ⑤8名に満たない場合は、他チームとの混成を認める。
（他チームとの混成が困難な場合は大会本部にご相談下さい。）
 - ⑥スポーツ障害保険に加入している事
9. 参加申し込み及び参加料
小沼 典男（メールにて申込の事）
申込先；Tel 携帯 090-6227-2556
e-メール； aizuminiren@keikakukensetu.co.jp
申込期日； 令和 3年7月24日（土）必着。
参加料；1人 ￥500（当日納入）

7. 9訂正版

10. 審判及びテーブルオフィシャル

参加チーム及び帯同審判、会津若松市ミニバスケットボール協会により行う。

なお、審判は経験の有無に関わらず、コーチ、保護者の推薦をお願いします。

11. 競技規則

日本バスケットボール協会規定ミニバスケットボール競技規則によるほか下記による。

①マイクロミニ（2年生以下の部）とフレッシュミニ（4年生以下の部）への重複出場は不可。

②タイムアウト

第2ピリオドまで1回、第3ピリオドに1回のタイムアウトをとることができる。

③交代

第3ピリオドでバイオレーションなどによりタイムが止まった時に交代をすることができる。

④プレー時間の制限

1人のプレーヤーは3ピリオドを連続して出場することはできない。

10人以上でチームを編成した場合、第3ピリオドまでに10人を出場させること。

⑤チームファウルにおけるフリースロー

各ピリオド5つ目のファウルからフリースロー2個を相手チームに与える。

⑥ゾーンディフェンスの禁止

ゾーンディフェンスは禁止とし、違反した場合はベンチテクニカルファウルとしフリースロー2個を相手チームに与える。

⑦同点の場合

リーグの対戦順位は、以下の通り、決定します。①2試合の勝敗数、②勝敗数が同じ場合は、総得点差（総得点・総失点）、③総得点差が同じ場合は、総得点数が多いチームが上位とします。③でも順位が決定しない場合は、当該チーム代表者と大会本部で協議の上、順位を決定します。

トーナメントにおいては、第3ピリオド終了時点で同点の場合は、延長戦を行わずフリースローを行い成否の差がつくまで行う。フリースローを行う者は5名とし途中での交代はできない。

12. 表彰

1位・2位のチームにトロフィー（持ち回り）を、3位のチームに賞状を授与する。また、ベストファイブ賞を男女各5名に贈る。

13. 組み合わせ

事務局の責任抽選とさせていただき、後日組み合わせを送付する。

14. 大会準備

河東総合体育館・鶴ヶ城体育館 令和3年8月6日（金）午後7時00分より
会津若松市ミニバスケットボール協会加盟の各チームは3名以上の協力をお願いします。

7. 9訂正版

15. 大会終了 後片付・清掃を8月8日（日）閉会式終了後に行います。最終ゲームの残った全チーム及びT.Oチーム行いますので協力をお願いします。

16. 新型コロナ感染防止対策は下記のとおりとする。

【新型コロナウイルス感染拡大防止策】

以下の項目を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。主催者である我々はもちろん参加チーム、保護者、審判員、そのほか全ての皆様に、この点を十分理解した上で参加いただくとともに、特段のご協力をお願いいたします。

*基本方針 福島県およびJBA・FBAのガイドラインによる。

○下記項目やチェックリストによる自主的な参加見合わせを徹底する。

- ・体調が良くない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある）
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域などへの渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

○参加選手の参加同意書はチーム責任者が作成し、提出させること。

○健康チェックシートの記入とその管理（各管理者は3ヶ月保管）

- ・入場者とは、大会参加者、審判、家族、スタッフ、協会役員を指す。
- ・協会役員においても、大会主催者への提出をお願いする。

○コート上を除くすべての方のマスク着用を義務化（各自持参）

- ・屋外で、2m以上の距離を保てる環境下ではこの限りではない。

○屋内でのソーシャルディスタンス確保のためのベンチ・T.Oの取り扱い

- ・1～1.5mの距離を保った椅子の配置を行う。
- ・コート間の観客席は、ステージ側コートで試合を実施するチームにそれぞれ10席を設置する。

○ステージおよびギャラリーでの観客動員制限

- ・ステージは10人程度の観戦を可とする。（他チーム指導者、スタッフ、協会役員が利用）
- ・ギャラリーは50人までの観戦を可とする（ステージ正面を20人、他辺を各15人）。
なお、ギャラリー使用が認められるのは、試合の当該チームの保護者並びに家族・親戚とする。

○手指消毒液・ペーパータオルの設置及び使用を呼びかける掲示を行う。

- ・出入口、審判控え室、更衣室、手洗い場、トイレ等

○会場出入口は入り口と出口を分けて導線を作成する。

○会場の備品、ドアノブ、トイレなどの消毒は1時間おきを実施する。

○握手・ハイタッチ・抱擁等の接触を避けるよう周知する。

○試合前のアップは屋外を原則とする。

○審判は原則1試合とし、長時間の会場滞在を避ける。

○コート上でのチームメイト、審判員との会話の際の距離についても留意するよう周知する。

7. 9訂正版

- 前試合のハーフタイムでのアップは実施しない。
 - ・換気及び試合後の除菌について説明を行う。
- スコアラーのみ、ステージ上に残り、スコアシートを完成させる。
- 試合間は除菌作業と選手等の入退場のために20分間設ける。
- 試合後のベンチ、TO、用具、出入り口の除菌作業の実施
 - ・ボール・TO除菌→大会スタッフが実施
 - ・ベンチ・TO除菌→チーム責任者監督のもと、使用者が実施
- アイスボックス等の共有物を設置しない。
 - ・審判員・ステージでの観戦者への飲料等の準備も実施しない。
 - ・審判員の昼食の用意については、協議の上準備する方向で進める。
- タオル・飲食等、すべてのものの共用をしないよう周知を徹底する。
 - ・粉末ドリンク作成前にも手洗いと手指消毒を実施するよう周知する。
- ごみの廃棄については、原則持ち帰り。大会役員のゴミについては大会スタッフがマスク・手袋着用で処理し、その後手指消毒を実施する。
- 各諸室の窓およびドアの開放、大型扇風機の利用等で換気を促す。

*努力事項 JBA に示されているガイドラインの中で皆様のご協力のもと実現をしていきたいと考えている事項を下記に記します。

- 1イベント300人の原則（全校生徒平均600人の2分の1）
 - ・1施設2面での試合実施を可能とする。
 - ・タイムスケジュールを作成し、選手、指導者並びに保護者等の協力を得て、常時、敷地内300人以内に努める。
- 屋内150人の原則（300人以内50%の原則）
 - ・1チームのエントリー数を原則12名までとする。
 - ・ギャラリーでのソーシャルディスタンスの確保に保護者の皆様のご協力をいただく。
 - ・試合間を30分設けることで、退場10分、除菌作業に10分、入場10分の時間を確保し、屋内150人以内に努めます。会場での人の入れ替わりにご協力いただく。
 - ・観客席およびギャラリーの除菌は、観客の方にご協力いただきます。

※主催者側でも常設しますが、除菌シートやアルコールスプレーの持参の協力を依頼する。

- 観客動員に制限をかけての試合の実施（観客間1～1.5m確保）
 - ・各チームの選手の保護者並びに家族や親族の観戦を認める。但し、観戦される方に関しては、日頃から健康管理を実施するとともに当日の健康に関する不安がないことを条件とします。
 - ・接触確認アプリを活用するように広く周知するとともに入り口にアプリ登録推奨の掲示をする。

ワクチンや特效薬の作製がされていないため、発症後のリスクは現在も変わりません。

高齢者や持病をお持ちの方は、重症化リスクを考え、来場はできる限り、避けるよう御協力下さい。